

目次

第 1 章 障害対応の基礎知識

01	障害の種類.....	1-1
02	障害対応の基本.....	1-3
03	障害復旧に備えた仕組み.....	1-7

第 2 章 Recovery Manager 概要

01	RMAN の基礎知識.....	2-1
02	RMAN 使用の前提条件.....	2-5

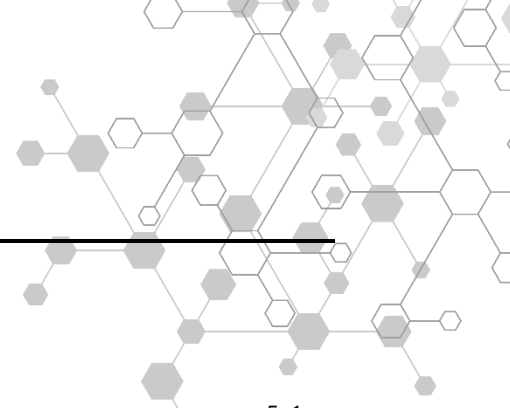
第 3 章 メディア障害に対する事前準備

01	メディア障害概要.....	3-1
02	ファイルの多重化.....	3-7
03	アーカイブ REDO ログ・ファイルの設定.....	3-13
04	バックアップ概要.....	3-17
05	オフライン・バックアップ.....	3-19
06	オンライン・バックアップ.....	3-25
07	RMAN 独自のバックアップ機能概要.....	3-35
08	障害復旧に必要なファイルの管理.....	3-37

第 4 章 メディア障害からの復旧

01	メディア障害からの復旧方法概要.....	4-1
02	完全リカバリ.....	4-5
03	不完全リカバリ.....	4-11





第 5 章 メディア・リカバリのケーススタディ

01	ケーススタディ概要	5-1
02	CASE1：制御ファイル ～多重化したうちの1つに障害～	5-3
03	CASE2：制御ファイル ～すべてのファイルに障害～	5-7
04	CASE3：オンライン REDO ログ・ファイル ～多重化したうちの1つに障害～	5-13
05	CASE4：オンライン REDO ログ・ファイル ～CURRENT 以外の全メンバーに障害～	5-17
06	CASE5：オンライン REDO ログ・ファイル ～CURRENT の全メンバーに障害～	5-21
07	CASE6：データファイル ～NOARCHIVELOG モードでのリカバリ～	5-25
08	CASE7：データファイル (CDB ルート) ～ARCHIVELOG モードでの不完全リカバリ～	5-29
09	CASE8：データファイル (CDB ルート) ～ARCHIVELOG モードでの完全リカバリ～	5-33
10	CASE9：データファイル (PDB) ～ARCHIVELOG モードでの不完全リカバリ～	5-35
11	CASE10：データファイル (PDB) ～ARCHIVELOG モードでの完全リカバリ～	5-39
12	CASE11：一時ファイル ～一時ファイルに障害～	5-43

付録

01	障害対策システム構成	A-1
02	フラッシュバック機能概要	A-5
03	論理バックアップ	A-9
04	表レベルのリカバリ	A-15
05	高速リカバリ領域	A-17
06	RMAN 独自のバックアップ機能	A-23
07	新規場所へのリストア	A-31
08	制御ファイルの再作成	A-35